

NTFS(NT File System)のHDD(Hard Disk Drive)やSSD(Solid State Drive)で、ファイルの最終アクセス日時の更新をしない。

(ファイルの最終アクセス日時の更新を止め、SSDやHDDのアクセス頻度を下げる。)

――― はじめに ―――

Windows XP 使いの時代には、レジストリ項目「NtfsDisableLastAccessUpdate」を弄り、HDDのアクセス頻度を下げていた。しかし、今 Windows 10 使いになって弄るのを忘れていた。

Windows 10 のバージョンによってレジストリ項目・値が異なります。(以前は「Dword値:1」でいけた。)

現在、直接レジストリを弄るより、コマンドで設定の確認、変更をする方がよいようです。

――― 操作手順 ―――

- 1.「スタート」、「Windows システム ツール」、「コマンド プロンプト」を右クリック、「管理者として実行」をクリックで「管理者: コマンド プロンプト」を立ち上げます。
- 2.「fsutil behavior query disableLastAccess」の実行で、現状を表示させます。
- 3.「DisableLastAccess = 1 (ユーザー管理、有効)」になっていればここで操作終了です。
(「コマンド プロンプト」を閉じる。)
- 4.なっていないときは、
「fsutil behavior set disableLastAccess 1」の実行で、設定を変更します。
「DisableLastAccess = 1 (ユーザー管理、有効)」の表示が出ます。
「コマンド プロンプト」を閉じ、PCを再起動します。

――― あらかじめバッチファイルを作ってから操作 ―――

- 1.メモ帳等で次の内容でバッチファイルを作ります。

```
DisableLastAccess_1.bat
(CRLF)(ANSI)

-----

@ECHO OFF
ECHO =====
ECHO ファイルの最終アクセス日時の更新を止め、
ECHO SSDやHDDのアクセス頻度を下げる。
ECHO 「fsutil behavior set disableLastAccess 1」
ECHO を実行します。(必ず管理者で実行)
ECHO =====
ECHO.
fsutil behavior set disableLastAccess 1
ECHO.
ECHO 「DisableLastAccess」を
ECHO 「1 (ユーザー管理、有効)」に設定しました。
ECHO.
ECHO PCを再起動すると設定内容が反映されます。
ECHO.
ECHO どれかキーを押すと閉じます。
ECHO.
PAUSE
EXIT
```

- 2.作ったバッチファイル「DisableLastAccess_1.bat」

を右クリック、「管理者として実行(A)」をクリックして
実行します。

3.どれかキーを押し、終了します。

4.設定内容が反映されるよう、PCを再起動してください。

*バッチファイルを作るのも面倒ってときは、
MEGAクラウドストレージに「DisableLastAccess_1.bat」を
ZIP圧縮ファイルにしたもの(「DisableLastAccess_1.zip」)を
ダウンロード出来るようにしました。
Internet Explorer 以外のブラウザを使い、
[紺色のリンク](#)からMEGAクラウドストレージのページを開き、
ダウンロードしてください。ZIPファイルを解凍(展開)すると
「DisableLastAccess_1.bat」があります。

[DisableLastAccess_1.zip](#) - MEGAクラウドストレージ

――設定いろいろ――

確認:
「fsutil behavior query disableLastAccess」

「0 (ユーザー管理、無効)」に設定:
「fsutil behavior set disableLastAccess 0」
(最終アクセス日時の更新をする。)

「1 (ユーザー管理、有効)」に設定:
「fsutil behavior set disableLastAccess 1」
(最終アクセス日時の更新をしない。)

「2 (システム管理、無効)」に設定:
「fsutil behavior set disableLastAccess 2」
(最終アクセス日時の更新をする。)

「3 (システム管理、有効)」に設定:
「fsutil behavior set disableLastAccess 3」
(最終アクセス日時の更新をしない。)
***PCの再起動後、「2 (システム管理、無効)」に
勝手に変更されてしまいます。**
(Windows 10 Home 20H2 で確認)
[「1 \(ユーザー管理、有効\)」の方の設定を
おすすめします。](#)

――コマンド実行例――

Microsoft Windows [Version 10.0.19042.746]
(c) 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior set disableLastAccess 0
DisableLastAccess = 0 (ユーザー管理、無効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior query disableLastAccess
DisableLastAccess = 0 (ユーザー管理、無効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior set disableLastAccess 1
DisableLastAccess = 1 (ユーザー管理、有効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior query disableLastAccess
DisableLastAccess = 1 (ユーザー管理、有効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior set disableLastAccess 2
DisableLastAccess = 2 (システム管理、無効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior query disableLastAccess
DisableLastAccess = 2 (システム管理、無効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior set disableLastAccess 3
DisableLastAccess = 3 (システム管理、有効)

C:\WINDOWS\system32>fsutil behavior query disableLastAccess
DisableLastAccess = 3 (システム管理、有効)

C:\WINDOWS\system32>

－ － － レジストリ（参考） － － －

（どちらかというと、コマンドでの設定、
確認の方をおすすめします。）

NtfsDisableLastAccessUpdate_80000001.reg

(CRLF)(UTF-16 LE)

Windows Registry Editor Version 5.00

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥FileSystem]

“NtfsDisableLastAccessUpdate”=dword:80000001

; NTFS(NT File System)のHDD(Hard Disk Drive)

; やSSD(Solid State Drive)で、ファイルの

; 最終アクセス日時の更新をしない。

; *HDDやSSDのアクセス頻度を下げるため、

; この設定を推奨します。

; Windows 10 のバージョンによってレジストリ項目・

; 値が異なります。

; どちらかというと、コマンドでの設定、確認の方を

; おすすめします。

; 確認:「fsutil behavior query disableLastAccess」

; 「1(ユーザー管理、有効)」に設定:

; 「fsutil behavior set disableLastAccess 1」

－ － － 更新履歴 － － －

*2021年1月15日(金)

「あらかじめパッチファイルを作ってから操作」
の項目を追加しました。

「はじめに」の項目の前に

「(ファイルの最終アクセス日時の更新を止め、
SSDやHDDのアクセス頻度を下げる。)」を追記
しました。

MEGAクラウドストレージからパッチファイル
格納ZIPファイルをダウンロード出来る旨
追記しました。